

2007-09 年度山陰宗門改帳研究会記録

第7回研究会 2007年8月31日(金) 午後1時半-5時

場所：法文棟 238 室（言語文化実験実習室）

出席者：伊藤康宏，相良英輔，鳥谷智文，廣嶋清志，山崎 亮

■1. 昨年度研究会の報告書「宗門改帳からみる山陰の近世社会 その2」について

部数は各人最低3部配分する。追加は希望に応じる。全印刷部数は200部。

抜き刷りを希望者には作成する。

■2. 今後の研究計画

予算配分：各自20万円を目途に自由に使用可能。簡単な使用予定を提出する。

出張・調査は、簡単な成果報告をMLに流す。

業績：報告書は2009年度末（原稿は2009年12月末締め切り）に刊行する。

毎年度末、希望があれば刊行するが、とくに雑誌論文等で業績を発表を心がける。

手持ち史料で印刷したいものがあれば、研究費利用・成果普及のため、印刷する。

■3. 研究報告

鳥谷「八重瀧鑪山内の特徴」 表8，史料6

廣嶋「石見銀山領の社会階層別出生率と結婚率—持高別・宗門別較差を中心として」

縮小版を相良先生退官記念論文集に提出した。熊谷家宗門改帳データファイルを活用して行った。

第8回研究会 2007年12月22日(土) 午後1時半-5時半 場所：山陰研究センター

出席者：伊田（人文社会M1），伊藤，加納，小林，相良，鳥谷，仲野，廣嶋，藤原（出雲市文化財課），藤波（生物資源4年），山崎

■研究報告：

・加納亜由子（広島大学大学院文学研究科博士課程後期）

「近世後期村落における「家」と結婚—「家」の存続と二男・三男の役割—」

二・三男は家制度の中で重要な役割を果たしていた，決して余計なものでなかったことを結婚・他国稼ぎについて出生順・階層・タイミングなどの丹念な分析によって裏付けた。

・仲野義文「近世温泉津町屋敷の変遷と構造」

いかなる物資がどのような人々を経て銀山に供給されたか，港および町の構造を戸口・産業・屋敷などから考察した。

・相良英輔「幕末から近代における出雲地域のたたら製鉄」

操業，鍛冶屋数，割鉄販売量の近世の推移と田辺家・櫻井家の慶應・明治期の収支勘定，山内労働者竈数などによって，いつ大量生産体制が成立したか，またその生産体制を検討した。

■近況報告

小林：一家一寺制について検討中。

伊藤：明治初漁業について6月に報告

鳥谷：「明治期奥谷鉦の経営状況」など

廣嶋：真宗の早婚の理由解明のため熊谷家文書宗門帳による宗門間の通婚の分析が一部可能か。

■研究連絡：

研究費について、今週中に使用予定を知らせる。残額は廣嶋の方で処理する。

今浦の宗門帳については概容を紹介した。目録を作る。

次回、3月は日程的に難しいので、6月。

第9回研究会 2008年6月28日（土）午後1時半-5時 場所：山陰研究センター

<研究報告>

伊藤康宏：明治前期の水産絵図について

山崎亮：「神社書上帳」にみる石見地方の森神信仰

小林准士：一家一寺制に関する石見銀山料の天明三年触書とその広瀬藩への波及

廣嶋清志：石見銀山領宗門改帳の別株記載例（資料紹介）

<研究運営>

基盤研究(B)石見銀山領における人口増加開始期における人口再生産機構に関する研究
研究費の配分 今年度計 1,500,000 について。

今後の計画 熊谷文書データ利用 今浦村文書 画像ファイル化済み

次回 9月研究会

第10回研究会 2008年9月19日（金）午後1時半-5時 場所：山陰研究センター

出席者：伊藤康宏，小林准士，相良英輔，鳥谷智文，仲野義文，山崎亮，廣嶋清志

（欠席：田籠博）

<研究報告>

鳥谷智文：明治初年における秦家の鉄山経営

廣嶋清志：石見銀山領宗門改帳の別株記載の分析

仲野義文：明治4年「銀山宗門人別改下帳」について

<その他>

- ・9月30日デジタルアーカイブ公開式
- ・魚漁図解の購入計画（伊藤さんのインセンティブ経費を使用可能と図書館に伝える）
- ・益田市石勝堂売り物 「山口県三隅町の村田清風本家の人別帳？と棚卸関係書類」
- ・実績報告（センター研究報告会）『銀山社会の解明』刊行の紹介を兼ね、仲野さんにお願

いする

次回, 12月または2,3月

第11回研究会 2009年3月26日(木) 午後1時半-5時 場所: 山陰研究センター

出席者: 伊藤康宏, 小林准士, 鳥谷智文, 仲野義文, 廣嶋清志, 山崎亮 (田籠博)

(欠席: 相良英輔)

○研究報告

・伊藤康宏「明治前期の「水産図解」

1. 明治前期「水産図解」の刊行状況 2. 研究史—「水産図解」の歴史的な位置づけ

3. 個別「水産図解」に関する研究

明治前期の水産図解について文献史, 研究史を着実にたどって島根県魚漁図解の位置を明らかにし, その研究の意義を具体化したものでした。

・廣嶋清志「幕末石見銀山領の同居別株からみた家制度」(経済科学論集 35号)

村という共同体の一員たる資格が百姓株であるが, 常に家としての存立できない農民が生み出され絶家し他の家に組み込まれる。江戸時代後半には農民層分解により大量の無高層(借家層)が生まれるが, こうした下層ほどその傾向が強くなる。他の家に傍系親族などとして組み込まれた農民は, 本来, 自分の株を失うが, このような家成員に村の成員としての権利・義務をある程度認めるひとつの家制度が「同居別株」で, 幕末の石見銀山領に生み出された。本研究では, 従来, あまり明らかにされてこなかった別株について熊谷家文書の宗門改帳から204例を見出し, その性格を分析した。その結果, 別株は一家に異なる寺を持つ成員がいるという寺檀制度に関わる型が多数(70.6%)であるが, 同一寺で異なる持高を持つ家成員がいるという型が存在することを明らかにした。

幕末からの江戸時代の人口増加傾向とこの一種の家制度も関わっているものと予想されたが, その実証は今後の課題として残った。

討論: 石見銀山領における別株の開始は忍原村の宗門改帳から1844年とされたが, 1818年の大森町の町役勤向定書にすでに「別株」についての記述がある。

○研究打ち合わせ

・熊谷家宗門改帳翻刻(234冊中現在195冊翻刻終了) Wordファイルのお披露目

これを活用した研究を進めていただきたい。

・今年度業績のとりまとめ依頼

・次回研究会 7月23-25または30-1日のどこか。

『銀山社会の解明』の書評

書評者: 小林, 藤波(「3章 御直山と資本」中心), 藤原(「6章 資材調達」中心)

あと1題の発表募集。

・次年度研究計画

人口との直接・間接の関わりのある研究の遂行・とりまとめをお願いしたい

第12回研究会 2009年7月25日(土) 1時半-5時半 場所：山陰研究センター

出席者：伊藤，小林，鳥谷，仲野，廣嶋，藤原，山崎 欠席：相良，田籠

1. 『銀山社会の解明』の書評会

藤原雄高「～大森代官所の鉱山資本と経営の変容について～」

1. 中世から近世への生産体制の移行
2. 幕府による無償の公費投入
3. 幕府からの拝借銀による開発
4. 貸付銀の運用による開発

小林准士「書評：『銀山社会の解明』」

- ・石見銀山の経営史の観点—今後の課題を中心に—
- ・「環境」をめぐる問題
- ・銀山町の社会構造

追加資料：「銀山古事覚書」について，産銀と山役銀の推移

著者（仲野義文）リプライ

- ・17世紀の経営史は未解明のところ多い

たたらと銀山との関わりは今後に待つ？

雑誌に書評掲載はできないか？

初版1000部の売れ行きは順調。

2. 伊藤康宏：明治の博覧会と出雲石見魚漁図解について

1. 博覧会開催当時(1880年代)の漁業概況
2. 博覧会開催当時の島根県漁業の概況
3. 博覧会開催の背景
4. 明治前期の博覧会と出品物(図書)概要
5. 「出雲石見魚漁図解」と「島根県下漁具図説」
6. まとめ

資料からわかる興味深い事実(ex. なぜ鯨漁がないか，中海アカガイ漁 etc.)を補足してもらえないか。

「図解」が、県「漁業場区」など県内の明治初年漁業紛争資料が基になっていることに触れてもらえないか。

3. 今年度の計画・進行報告

田籠：銀山領宗門改帳にみる人名，親族呼称の地域差

山崎：銀山領？内における都市化と思想変化

伊藤：江戸時代末，明治初年における「島根県」漁業：漁業図解による分析

仲野：銀山領社会変化？

相良：たたら宗門改帳

鳥谷：八重瀧鉦，家嶋家鉄山に関わる人の動き

小林：寺檀関係や宗門人別改めが絡んだ争論

廣嶋：忍原村・別府村の出生率・結婚率の推移，熊谷家宗門帳による移動

持高別結婚率・出生率（『統計』特集：歴史と統計，2009.7）

・宗門改帳関係資料の紹介（今浦村文書目録，次回）

次回会合，10-12月 報告者の都合を優先する。

最終報告書を出す予定で，2月末までに，論文の執筆をお願いしたい。

第13回 研究会記録 2010年2月5日（金）2時-5時 場所：地域交流スペース2(115)

出席者：小林，相良，田籠，仲野，廣嶋，藤原，山崎 欠席：伊藤，鳥谷

研究報告：

田籠 博：「宗門帳」所載人名の分析—男女差の観点から—

1863(4)年熊谷家宗門改帳データ 33,820件，人名=名素+名辞

山崎 亮：浜田の国学者藤井宗雄の著作について

藤園著書目録ほか，小社と森神の地域分布

打ち合わせ

●当科研の研究報告書（山陰の近世社会 No.3）の掲載予定論文 2月末締切

（内容）幕末の人口増加の開始という本研究課題の一応の結論と社会文化各側面での社会変化の実態

（2007-2009の3年度間において他の雑誌などに掲載されたものの再録含む）

・業績報告 3月10日頃まで

以上，提出。

●会計処理 年度内の執行予定を確認した

(以下、山陰研究センター等の行事での発表(予定) 本プロジェクト関係者のみを記載)

第3回山陰研究報告会 2007年10月3日(水) 15:30-17:30

場所：島根大学法文学部棟2階 汽水域研究センター・図書閲覧室

廣嶋清志「石見銀山領の社会階層別出生率と結婚率—真宗の出生率が高いか？」

第6回山陰研究報告会 2008年12月3日(水) 午後1:30-5:00 法文棟多目的室(207)

仲野義文「石見銀山附地役人と身分」

第4回山陰研究センター講演会 2010年5月22日(土) 午後1:30-5:00 大学ホール

廣嶋清志「江戸時代の人口問題：石見銀山領宗門改帳から見る」